

45 ヒバリシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris subminuta

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部などで繁殖し、繁殖後は南アジア東部から東南アジア、オーストラリアなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。水田、休耕田、沼地、埋立地など草の生えた内陸の湿地に生息する。泥地を歩きながら甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、甌島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、
★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、★南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-10月に記録がある。古くから県南部では単独か数羽の群れが記録されている。主要な生息地が消滅した現在でも観察されるが個体数は少ない。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田は本種の貴重な採餌場となっている。